

にしまち幸朋苑 開苑10周年記念

～10年の歩みと未来に向けて～

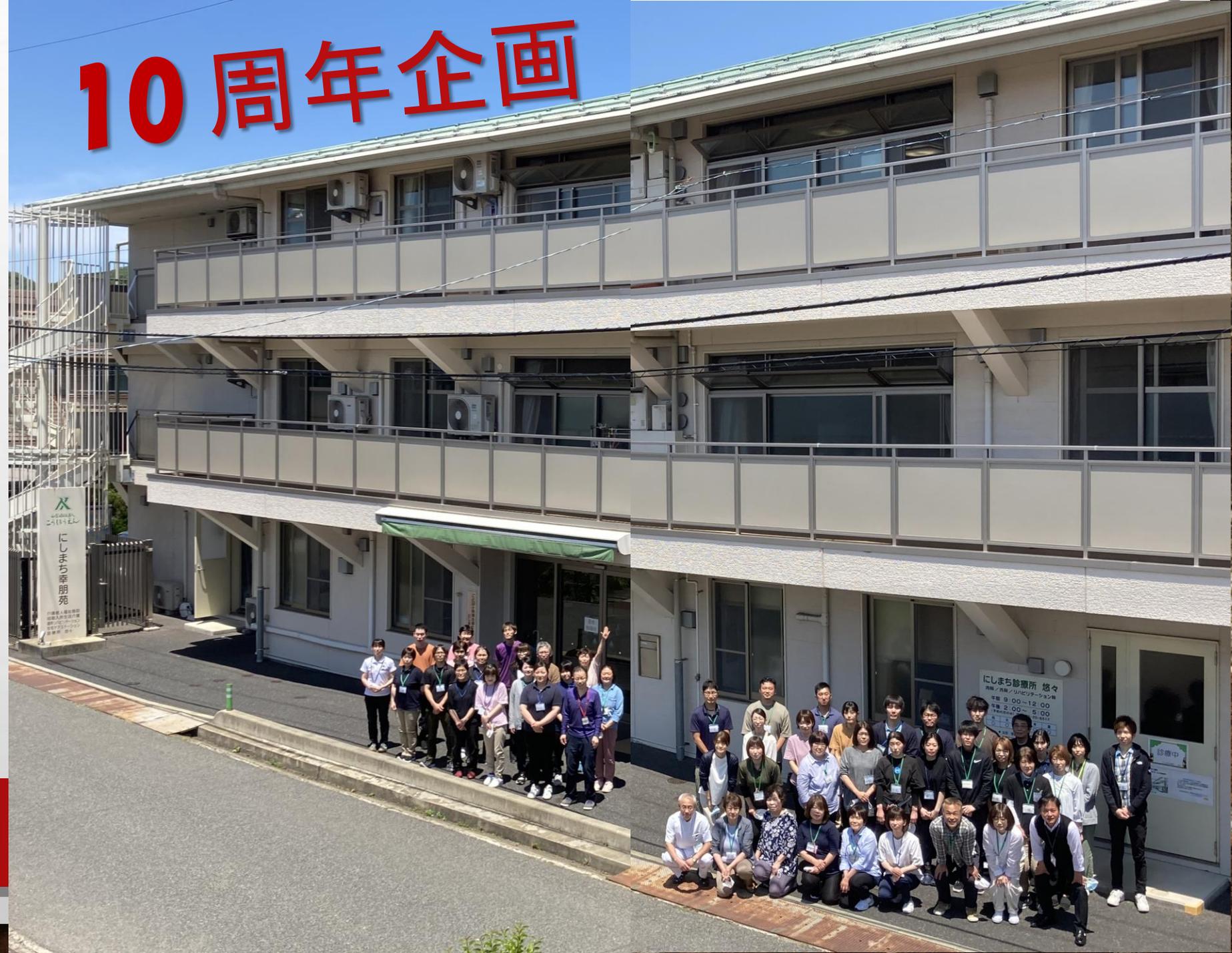


にしまち幸朋苑

にしまち幸朋苑の
歴史を
振り返ってみよう!!



10周年企画



(2011年)

平成23年10月

着工



敷地面積: **1,159.33** m²



1階部分基礎工事

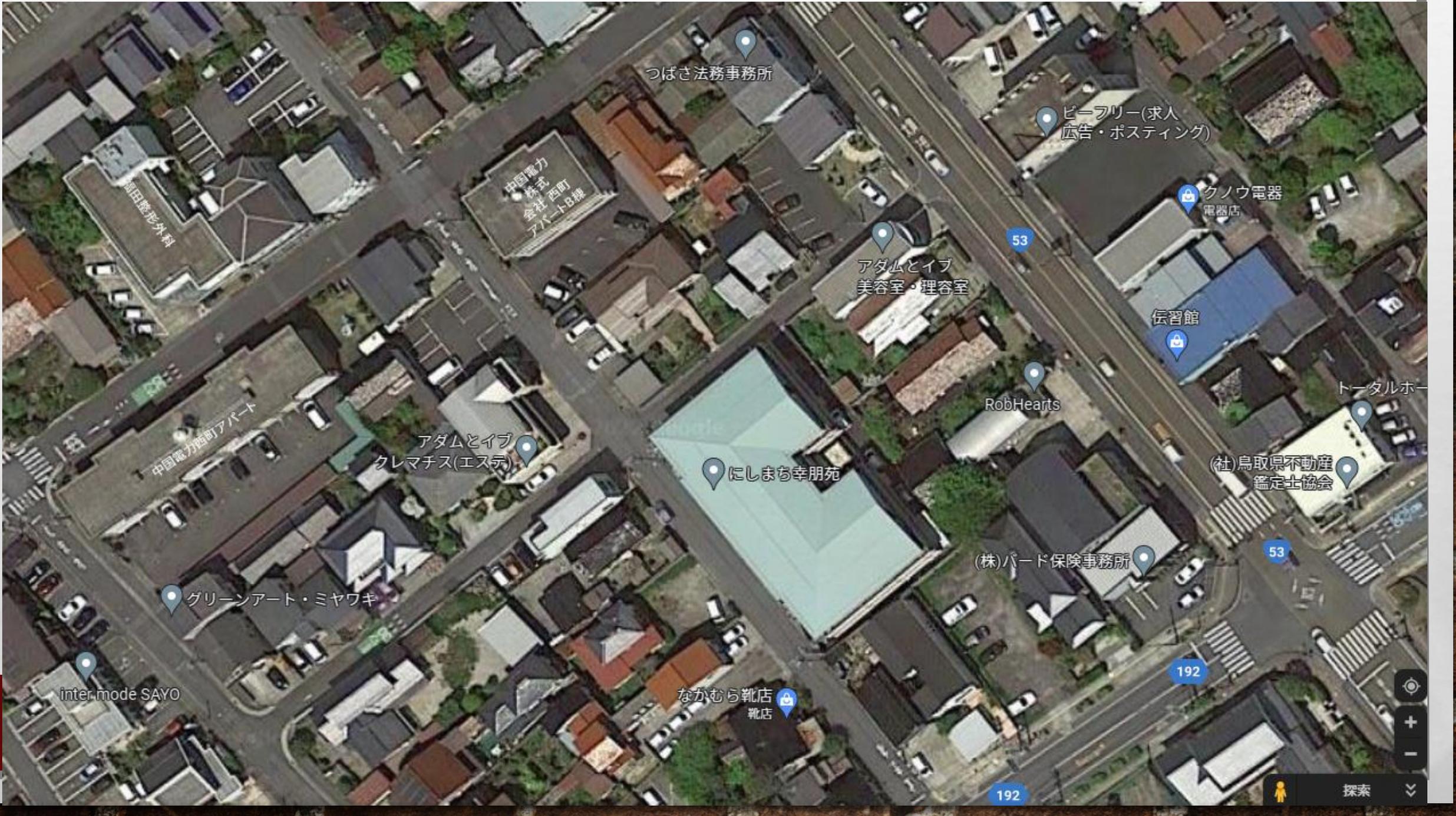


2階部分



3階部分





つばさ法務事務所

ビーフリー(求人
広告・ポスティング)

中国電力
株式会社 西町
アパートB棟

クノウ電器
電器店

53

アダムとイブ
美容室・理容室

伝習館

RobHearts

トータルホー

中国電力西町アパート

アダムとイブ
クレマチス(エステ)

にしまち幸朋苑

(社)鳥取県不動産
鑑定士協会

53

(株)パード保険事務所

192

なかむら靴店
靴店

inter.mode SAYO

グリーンアート・ミヤワキ

192

探索



看板設置



にしまち幸朋苑完成！



内覧会 開催

社会福祉法人 こうほうえん

にしまち幸朋苑



ご来苑
お待ちしております
おります

6月29日(金) 11:00~
6月30日(土) 11:00~
内覧会開催

- 特別介護老人ホーム
- ショートステイ
- 通所リハビリテーション
- 在宅ケアステーション
(訪問介護・訪問看護・リハビリ)
- にしまち診療所 悠々

7/2(月)開所



にしまち幸朋苑は、
「自分たち(職員)が受けたサービスを提供を形にし、
気軽に利用いただける場所」になるよう利用者皆様の暮らしを支援します



私たちは、地域包括ケアの拠点
となるよう取り組みます

にしまち幸朋苑

〒680-0022 鳥取市西町五丁目108

☎ 0857-25-6517

FAX 0857-25-6516

にしまち診療所 悠々

☎ 0857-25-6523

<http://www.kohoen.jp/>



(2012年)
平成24年7月2日
開設・入所式



(2012年)

平成24年7月2日

職員52名で開始

「地域包括ケア」の拠点

- ・介護老人福祉施設(特養)
- ・短期入所生活介護(ショートステイ)
- ・にしまち診療所 悠々
- ・通所リハビリテーション
- ・訪問介護(平成30年9月鳥取北へ移転)



事業所紹介

介護老人福祉施設にしまち幸朋苑



田中 絵美 主任（介護福祉士）



石田 多賀子 係長（看護師）



小倉 久美子 主任（管理栄養士）

事業所紹介

短期入所生活介護 にしまち幸朋苑



吉田 春樹 主任（介護福祉士）



事業所紹介

通所リハビリテーション にしまち幸朋苑



森本 渉平 副主任（理学療法士）



赤峰 孝宏 係長（言語聴覚士）



須崎 景子 主任（介護福祉士・社会福祉士）

(2012年)

平成24年9月

- ・訪問看護ステーションにしまち幸朋苑 いなば幸朋苑から移転

(2013年)

平成25年4月(～平成28年3月)

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護にしまち幸朋苑 事業開始

事業所紹介

訪問看護ステーション にしまち幸朋苑



永田 りん太郎 主任（看護師）



(2013年)

平成25年

在宅医療連携拠点事業開始

(鳥取県地域医療再生基金)

にしまち幸朋苑を連携拠点として地域における包括的な在宅医療を提供するための体制を構築する

- ▶ 在宅医療に係る講演会、検討会、地域住民への啓発活動等の開催
- ▶ 在宅医療従事者間の情報共有のためのIT活用

(2013年)

平成**25**年7月～平成**26**年3月

在宅医療における連携上の課題抽出と対応策の検討

「**東部医師会在宅医療検討委員会**」立ち上げ

- ▶ 構成メンバー：医師会、歯科医師会、薬剤師会、
訪問看護協会、介護施設、
リハ協会、ケアマネ協会の代表者
- ▶ 委員会開催：3回
- ▶ 参加者：延べ**68**人

東部医師会在宅医療検討委員会

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ、ケアマネ、行政



平成25年11月15日 第2回風景

在宅医療に係る講演会 地域住民への啓発活動

平成26年1月～平成26年10月

団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、後期高齢者の急増とともに要介護者も増加します。患者が必要介護となればおのずか病院が困難となり、在宅で療養する高齢者への訪問診療、往診が一段と求められるようになってきます。質の高い在宅医療を推進するためには、多職種連携が欠かせません。在宅医療、在宅ケアに関わる多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

在宅医療 連携講演会

参加無料

日時 平成26年 1月11日(土) 17:30~19:30

会場 ホテルモナーク鳥取
2階 鳳翔の間 鳥取市永楽温泉町403
TEL0857-20-0101

特別講演

「看取りまでを支える在宅医療連携 -自分らしい最期を迎えるために」

佐藤 涼介先生
岡山市医師会 副会長・医療法人佐藤医院 院長

座長
鳥取県東部医師会 会長
松浦 喜房先生



1983年 愛媛大学医学部卒
1990年 岡山市に佐藤医院を開業
全国的にもめずらしい内科医高士の診療連携を近隣医院と行いつつ、在宅医療に力を入れる。岡山市医師会にて在宅医療連携の推進に尽力。医学部の学生実習、卒後臨床研修を受け入れ、後進の指導にもある。

共催 鳥取県東部医師会
社会福祉法人こうほうえん にしまち幸朋苑 (在宅医療連携拠点事業所)
後援 鳥取市、鳥取県医師会、鳥取県東部医師会、鳥取県薬剤師会、鳥取県看護協会、鳥取県介護支援専門員連絡協議会東部支部

【お問い合わせ】 にしまち幸朋苑
TEL0857-25-6517 FAX0857-25-6516
E-mail kishi@koho.jp

市民公開講座

特別講演

在宅緩和ケアで 朗らかに生きよう

～おひとり様でも大丈夫～

講師



おがわら ぶん いく
小笠原 文雄氏
小笠原内科院長
日本在宅ホスピス協会 会長

日本内科学会 認定医
日本緩和病学会 専門医
日本在宅医学会 専門医

高齢化が一段と進むこの地域。高齢者はもちろん多くの住民が住み慣れた地域、家で最後を迎えたいと願っていますが、現実には…???
鍵を握るのは地域包括ケア、在宅医療、在宅ケアの充実です。
長年、在宅で多くの患者さんを看取ってこられた専門家のお話、ぜひお出かけください。

申込不要
参加無料
定員：200名

日時 平成26年 3月15日(土) 13:30~15:30

場所 とりぎん文化会館 第1会議室

司会 徳永 進氏(野の花診療)



新聞、雑誌、ラジオ、テレビなどメディアに数多く取り上げられ、年間約50本の講演を全国各地で行っている。

【お問い合わせ】 にしまち幸朋苑 (担当：岸)
TEL 0857-25-6517 FAX 0857-25-6516 e-mail kishi@koho.jp

主催：社会福祉法人こうほうえん にしまち幸朋苑 (在宅医療連携拠点事業所)
後援：鳥取県東部医師会、鳥取県医師会、鳥取県東部医師会、鳥取県看護協会、鳥取県薬剤師会東部支部、鳥取県介護支援専門員連絡協議会東部支部、新日本新聞社、鳥取市

在宅医療 シンポジウム

平成26年5月10日(土) 13:00~16:00
とりぎん文化会館 第1会議室 定員/200名(事前申し込み)

第1部

基調講演

在宅医療

～総合医として 患者の人生に寄り添う～



講師
にしみち くにのり
新田 國夫氏
医療法人社団 つくし会 理事長
全県在宅医療支援診療所連絡会会長
日本臨床病理学会理事長
福祉フォーラム・ジャパン 副会長

プロフィール
1967年 早稲田大学第一高等学校卒
1979年 帝京大学医学部卒
1980年 東京都立市川市にクリニック開業
地域の在宅医療に尽くし1000人近くの患者を看取る
テレビ、新聞、雑誌等マスコミに多数登場

第2部

取組と議論

シンポジスト
瀬川 謙一氏 (岡山)
池本 圭子氏 (にしまち幸朋苑)
伊奈垣 学氏 (いなば幸朋苑)
安住慎太郎氏 (尾道病院)
竜吉 淳一氏 (信吉病院)

病気をもちつつも可能な限り住み慣れた場所で自分らしく過ごしたい・・・
高齢者の増加に伴い、在宅医療の普及が欠かせません。
本シンポジウムでは在宅医療のスペシャリストの話を聞き、在宅医療に熱心に取り組む現場の声を聞き、在宅医療について語り合います。
一般市民の皆様、在宅医療に関わる多くの関係者の皆様のご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】 にしまち幸朋苑
TEL 0857-25-6517 FAX 0857-25-6516

主催：社会福祉法人こうほうえん にしまち幸朋苑 (在宅医療連携拠点事業所)
後援：鳥取県東部医師会、鳥取県医師会、鳥取県東部医師会、鳥取県看護協会、鳥取県薬剤師会東部支部、鳥取県介護支援専門員連絡協議会東部支部、新日本新聞社、鳥取市

地域リハビリテーションの可能性をさぐる!!

リハビリテーション 講演会

参加無料



医療・介護・福祉関係者、一般市民の方、多数お出かけください。

日時 2014年 10月23日(木) 【開演】19:00~20:30

場所 鳥取市総合福祉センター さざんか会館 5階大会議室 (鳥取市富安2丁目104-2)



基調講演

「地域包括ケアにおける リハビリテーションの役割」



【講師】 斉藤 秀之氏

こうほうえん (いなばエリア) リハビリテーションアドバイザー
日本理学療法士協会 副会長
茨城県理学療法士会 会長
筑波記念会 リハビリテーション事業 統括

討論

これからの地域リハビリテーション

- 安住 慎太郎氏 さとに田園クリニック リハビリテーション科長 (理学療法士)
- 原田 伸吾氏 デイサービスつむぎ 代表取締役 (作業療法士)
- 赤峰 季宏氏 通所リハビリテーションにしまち幸朋苑 主任 (言語聴覚士)

共催 にしまち幸朋苑・いなば幸朋苑 (在宅医療連携拠点事業所)

【お問い合わせ】 通所リハビリテーションいなば幸朋苑 (佐野)
TEL 0857-23-6611 / FAX 0857-23-6613 / E-mail riha-i@koho.jp

在宅ケア事例検討会

～在宅ケアを支える多職種連携～



質の高い在宅医療提供体制構築を目的に 多職種協働・情報共有ツールとしてICTを活用



(2013年)
平成25年7月2日

にしまち幸朋苑1周年



ホットアイ 2013年 夏号

(2013年)

平成25年12月

台中市衛生局の視察



● 12/3台中市衛生局が、にしまち幸朋苑に来苑

- 台湾は、**65**歳以上の人口比率が、当時**11.2%**
- 中でも台中市は高齢者人口が多い
- 質問には、岸先生と津江課長が対応
- 従業者数・利用者の状態・利用料金など
- 特に認知症ケアについて関心をお持ちだったようです



(2014年)
平成26年6月

訪問リハビリテーション事業所にしまち幸朋苑

事業所紹介

訪問リハビリテーション

事業開始



坂本 幸子 主任（理学療法士）



(2015年)
平成27年12月

災害時における一時避難場所の提供に関する協定締結

醇風地区西町五丁目町内会

災害時における一時避難場所の提供に関する協定書

(趣旨)

第 1 条 この協定は、大規模な地震及び風水害等の災害（以下「災害」という。）により、被災者が避難を余儀なくされた場合の一時避難施設として、鳥取市醇風地区西町五丁目町内会（以下「甲」という。）が、社会福祉法人こうほうえん（以下「乙」という。）の所有する社会福祉施設等を利用するための協力を要請することについて、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この協定において、「被災者」とは、次に掲げるものとし、災害時に何らかの保護を求める者をいう。

ただし、介護や医療が必要であるため特別な設備を必要とする者を除くものとする。

- (1) 居住家屋の倒壊や浸水によって居住困難になった者
- (2) ひとり暮らし高齢者
- (3) 寝たきり高齢者
- (4) 高齢者世帯
- (5) 前各号に掲げる者に準ずる状態にある者

(施設の利用の要請及び受諾)

第 3 条 甲は、災害時に一時避難場所として利用する必要があるときは次条に掲げる施設を利用することについて、乙に協力を要請できるものとする。

2 乙は、甲からの要請を可能な限り受諾するよう努めるものとする。

(一時避難施設)

第 4 条 乙が前条に基づき提供できる施設は、次のとおりとする。

- (1) 住所 鳥取市西町五丁目108番地
施設名 にしまち寺朗苑
- (2) 住所 鳥取市玄好町404番地
施設名 デイハウスじゅうぶう

(避難者の移送)

第 5 条 乙は、甲の依頼により、避難が困難な被災者の移送について、協力するものとする。

(利用期間)

第 6 条 一時避難場所として利用する期間は、甲が乙に要請を行った時から災害に対する安全確認及び避難場所が確保されたことが確認できるまでとする。

(物資の調達及び搬送要請)

第 7 条 甲乙共に被災者に係る日常生活用品、食糧及び医薬材料等の必要な物資の調達に努めるものとする。

2 乙は、管理上必要があると認めた場合、甲に対し被災者の保護責任者の搬送を要請することができる。

(費用負担)

第 8 条 一時避難場所を利用する期間内であれば、費用は乙の負担によるものとする。ただし、利用期間を超えた場合は、その都度甲乙協議し、被災者に請求できるものとする。

(有効期間)

第 9 条 この協定の有効期間は毎年度末とし、有効期間満了日の1か月までに甲乙双方に異議がない場合は、翌年度においても自動的に更新されるものとする。

(雑則)

第 10 条 この協定に定めのない事項は、甲乙協議して別に定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名の上押印の上、各自その1通を保有する。

平成 27 年 12 月 1 日

(甲) 鳥取市醇風地区 西町五丁目町内会
町内会長

(乙) 鳥取市西町五丁目108番地
社会福祉法人こうほうえん にしまち寺朗苑
施設長



(2016年) 平成28年4月 こうほうえん出前講座プログラム開始

- 平成28年度 回数:11回・参加者数:256人・派遣職員数:15人 (エリア計)
- 平成29年度 回数:17回・参加者数:407人・派遣職員数:23人
- 平成30年度 回数:18回・参加者数:261人・派遣職員数:28人
- 令和元年度 回数:16回・参加者数:387人・派遣職員数:24人
- 令和2年度 回数:10回
- 令和3年度 回数:5回・参加者数:26人・派遣職員数:5人

● にしまち幸朋苑 講師

岸 清志 小倉 久美子 濱口 和史 森山 大介 赤峰 孝宏 榎並 三香子

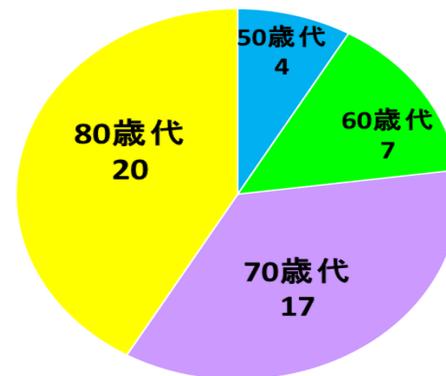
浅木 貴志 永田りん太郎 上山 健悟 丸山 啓太 清水 佳子

みんなの空間

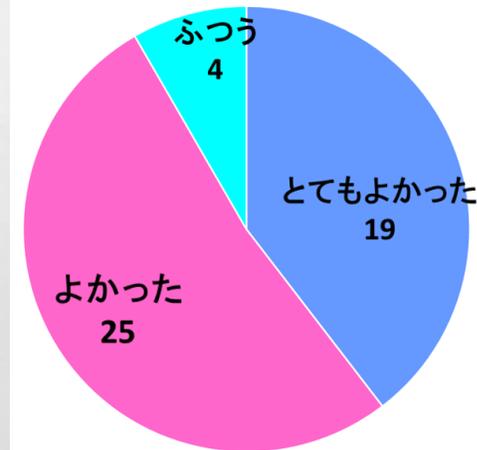
- 通所リハビリデイルームを無料開放
- 血圧測定や健康に関するリハビリを実施
- アンケート結果



n=48
単位:(人)



年齢



活動内容について

地域貢献活動

みんなの空間

● 活動実績

- 第1回 平成28年 6月 24日 (14人) 第2回 平成28年 9月 4日 (9人)
- 第3回 平成28年11月 13日 (12人) 第4回 平成29年 5月21日 (6人)
- 第5回 平成29年 9月 3日 (12人) 第6回 平成29年11月19日 (9人)
- 第7回 平成30年 6月 10日 (10人) 第8回 平成30年 8月12日 (4人)
- 第9回 平成30年10月14日 (9人) 第10回 平成30年12月 9日 (3人)
- 第11回 平成31年 2月10日 (13人) 第12回 平成31年 4月14日 (9人)

延べ参加人数：**110人**

(2017年)
平成29年7月2日

にしまち幸朋苑 5周年

企画・制作 山崎アナと・アソ

社会福祉法人こうほうえん

にしまち幸朋苑

7月2日 おかげさまで5周年

いじめがけ

施設長 岸清志

鳥取市中心市街地である西町5丁目に介護老人福祉施設(特養)、短期入所生活介護(シヨートステイ)、訪問看護、訪問介護、通所リハビリテーション、にしまち診療所悠々からなる医療・介護の複合施設、通称「にしまち幸朋苑」を開設して5年が経過しました(平成26年から訪問リハビリテーション開始)。「ここまで来られたのもひとえに、「にしまち幸朋苑」を支えてくださった多くの皆様のお蔭と、心より感謝申し上げます。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来る「地域包括ケア」の確立をめざして「にしまち幸朋苑」はこれからも皆様に寄り添い、皆様と共に歩んで参ります。



(2017年)
平成29年7月2日

にしまち幸朋苑5周年記念式典



(2018年)
平成30年5月

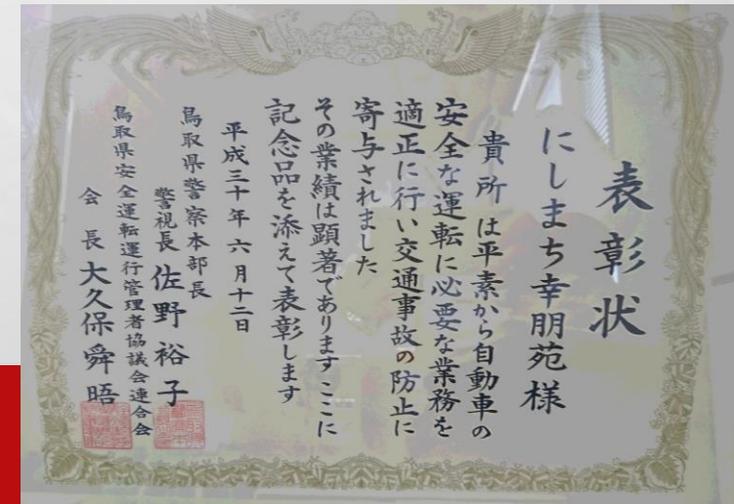
安全運転運行の優良事業所表彰

鳥取県安全運転運行管理者協議会連合会



この表彰は、

- ・安全運転管理、交通事故防止活動に積極的に取り組み
- ・交通事故の抑止に貢献
- ・鳥取県安全運転運行管理者協議会連合会会長、
鳥取県警察本部長の連名により、選出



(2019年)

令和元年7月 ケアプランセンターにしまち幸朋苑 鳥取北から移転

事業所紹介

ケアプランセンター にしまち幸朋苑



濱口 和史 主任（主任介護支援専門員）



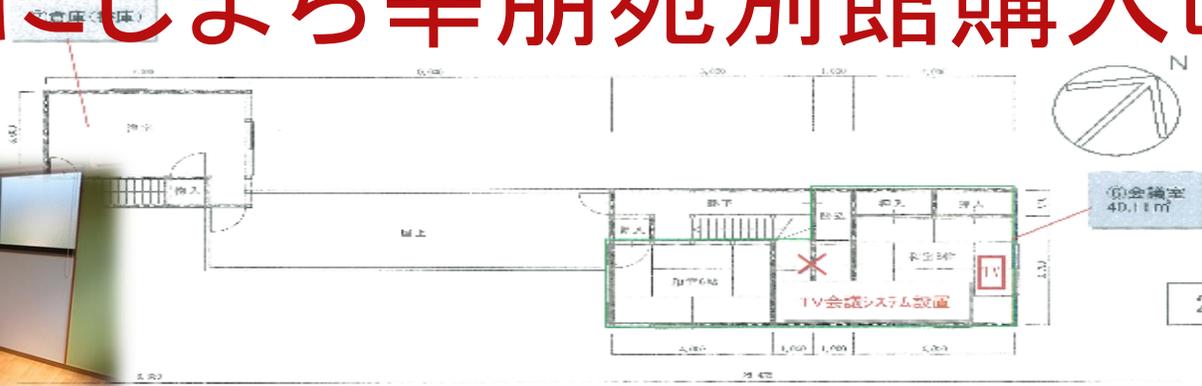
平尾 由紀子 管理者（主任介護支援専門員）



(2020年)

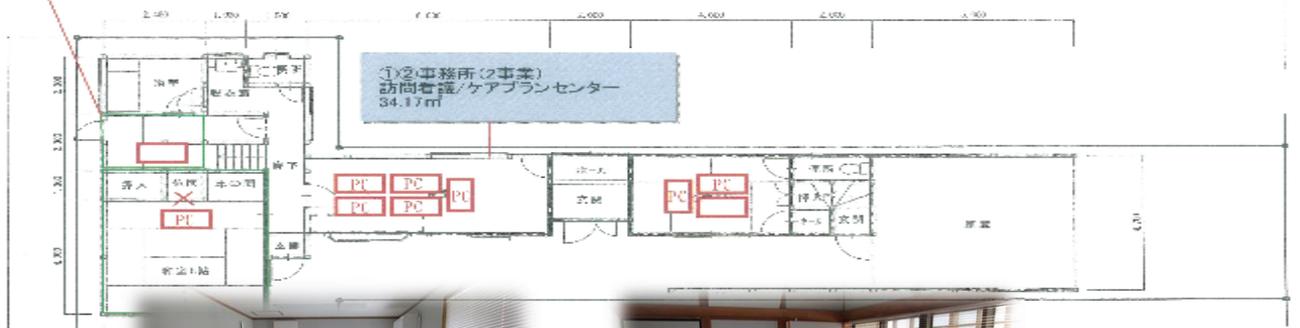
令和2年3月

にしまち幸朋苑別館購入改修工事完了



場所	鳥取市西町5-220
平成6年5月23日	確認番号ト-162号
敷地面積	217.52㎡
建築面積	114.25㎡
1階床面積	103.49㎡
2階床面積	67.00㎡
延床面積	170.49㎡

2階平面図 1/100



配置図



(2020年)

令和2年10月

JAいなば燃料センター

災害時石油燃料の支援協力に関する協定締結

災害時における石油類燃料の供給等に関する協定書

日本燃料株式会社（以下「甲」という。）と株式会社 JAいなば燃料センター（以下「乙」という。）は、災害が発生し、又は発生のおそれがある場合（以下「災害時等」という。）における支障を避けて、次のとおり協定を締結する。

（目的等）

甲は、災害発生時において、甲は、乙に対して、次の各号について協力を要請することがある。

(1) 甲が要する緊急車両等の燃料の提供等

(2) 甲が要する協定範囲外の燃料の提供等

乙前項の要請は、「燃料の供給等要請書」（別紙「要請書」）によるものとする。ただし、緊急を要する場合は例外とする。

乙は、乙が乙が協定する協定範囲外の燃料を、甲が乙に要する。

（甲が乙に）

乙は、乙が協定する協定範囲外の燃料を、甲が乙に要する。

（乙が甲に）

甲は、甲が協定する協定範囲外の燃料を、乙が甲に要する。

●この協定は、いなばエリアで使用する車両・自家用発電機燃料等の供給を要請し、可能な範囲で優先供給に努めていただく内容となっています

●締結により、速やかな燃料調達が可能となることから、災害対応能力の向上など心強い協定内容となっています



今般 2 年 10 月 20 日

(甲) 千葉県津田沼市飯沼町 2000 番地
株式会社 JAいなば燃料センター
代表取締役 廣江 晃

(乙) 千葉県馬毛市湖北町東 5-7-61
株式会社 JAいなば燃料センター
取締役 宮下 正道

(2020年)

令和2年4月

事業所紹介

にしまち診療所悠々

事業開始

ことばの発達支援センター
にしまち幸朋苑



森田 愛 代表（言語聴覚士）



事業所紹介

にしまち診療所悠々



岸 清志 所長（医師）

外部学会発表

2題

I. 全国老人保健施設大会

- ・平成26年10月15日 第25回 岩手大会
有松 真弓 歯科衛生士 介護老人福祉施設
『誤嚥性肺炎予防をめざした口腔ケアの見直しとその効果』
- ・平成28年 9月14日 第27回 大阪大会
佐竹 久美子 介護福祉士 介護老人福祉施設
『歌いながら排泄介助をした一事例』

1題

II. リハビリテーション・ケア合同研究大会

平成30年10月 3日

赤峰 孝宏 言語聴覚士 通所リハビリテーション
『通所リハビリテーション室を利用した地域貢献活動の報告』

研究発表

8題

Ⅲ. こうほうえん研究発表会

平成25年（第18回）

- ・安住 友世 介護福祉士 訪問介護
『定期巡回でヘルパーが果たす役割と活動』
- ・井上 喜子 看護師 介護老人福祉施設
『左踵部褥瘡症例から発症要因を予測して予防を考える』
- ・岡村 沙耶香 介護福祉士 介護老人福祉施設
『ADLとコミュニケーション能力が向上した一事例』
- ・岸 清志 医師 にしまち診療所
『にしまち幸朋苑・在宅医療連携拠点事業の現状』
- ・赤峰 孝宏 言語聴覚士 通所リハビリテーション
『短時間通所リハビリテーションにおける言語訓練の課題と今後の展望』
- ・池本 圭子 看護師 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
『病院から在宅への復帰を可能とした取り組みの一事例』
- ・萩原 元気 介護福祉士 通所リハビリテーション
『短時間通所リハビリテーションの経過報告と今後の課題』
- ・有松 真弓 歯科衛生士 介護老人福祉施設
『特養における口腔ケア支援の取り組み』

研究発表

4題

Ⅲ. こうほうえん研究発表会

平成26年（第19回）

- ・谷口 明子 介護福祉士 短期入所生活介護
『人体図を活用した入浴カードの有用性』
- ・影井 裕美 介護福祉士 介護老人福祉施設
『A氏の潜在能力を引き出す一貫性のある援助にチームで取り組む』
- ・森岡 秀彰 理学療法士 訪問リハビリテーション
『リハビリテーションアドバイザー及び判定会議の導入』
- ・萩原 元気 介護福祉士 通所リハビリテーション
『短時間通所リハビリテーション終了者の現状』

研究発表

4題

Ⅲ.こうほうえん研究発表会

平成27年（第20回）

- ・佐竹 久美子 介護福祉士 介護老人福祉施設
『超音波測定器を用いて』
- ・白水 志保理 介護福祉士 介護老人福祉施設
『DCMを受けて個人の価値を高める行為に繋がった一例』
- ・宮本 剛 介護福祉士 介護老人福祉施設
『防災訓練への取り組みについて』
- ・森本 渉平 理学療法士 通所リハビリテーション
『リハビリテーションアドバイザーの現地指導によるにしまち通所リハビリ事業の変化』

研究発表

4題

Ⅲ.こうほうえん研究発表会

平成28年（第21回）

- ・平野 里紗 介護福祉士 短期入所生活介護
『ショートステイ連絡表を有効活用するために』
- ・榮 真矢 理学療法士 通所リハビリテーション
『活動向上に繋がった慢性期左片麻痺患者を経験して』
- ・安住 友世 介護福祉士 訪問介護
『訪問介護における業務効率化の取り組み』
- ・山田 瑞姫 介護士 介護老人福祉施設
『特養入居者の適正な水分摂取量設定に関する検討』

研究発表

Ⅲ.こうほうえん研究発表会

5題

平成29年（第22回）

- ・川上 裕子 介護福祉士 介護老人福祉施設
『介護キャリア段位を効率よく取得するための環境づくり』
- ・尾崎 由生子 介護福祉士 介護老人福祉施設
『職場の環境改善に向けての取り組み』
- ・井上 喜子 看護師 介護老人福祉施設
『介護老人福祉施設入居者の爪白癬の現状とケアの実際』
- ・赤峰 孝宏 言語聴覚士 通所リハビリテーション
『いなばエリアリハビリ組織体制の見直しによる効果と今後の取り組みについて』
- ・岸 清志 医師 診療所
『鳥取市の「認知症初期集中支援チーム」の一員として』

研究発表

2題

Ⅲ.こうほうえん研究発表会

平成30年（第23回）

- ・榎並 三香子 介護福祉士 介護老人福祉施設
『介護骨折を契機に利用が進んだスライディングシート』
- ・西本 裕香子 作業療法士 通所リハビリテーション
『興味のある作業を通して活動・参加へ展開できた一症例』

研究発表

5題

Ⅲ.こうほうえん研究発表会

令和2年（第24回）誌上掲載 令和3年（第25回）☆口演

・宮本 剛 介護福祉士 介護老人福祉施設
『コミュニケーションの第一歩はあいさつから』

・富山 のどか 介護福祉士 介護老人福祉施設
『皮膚トラブル軽減を目指した取り組み』

☆赤峰 孝宏 言語聴覚士 通所リハビリテーション
『機能性構音障害児の訓練期間に影響する要因の分析』

☆丸山 啓太 理学療法士 通所リハビリテーション
『歩行を諦めていた利用者に対する能力再獲得に向けた取り組みの成果』

・浅木 貴志 介護福祉士 通所リハビリテーション
『通所リハビリ利用休止者に対する取り組みの成果』

研究発表

4題

Ⅲ.こうほうえん研究発表会

令和4年（第26回）

- ・ 茗荷 かおり 介護福祉士 介護老人福祉施設
『ノーリフティングの取り組み』
- ・ 向山 斗和 理学療法士 通所リハビリテーション
『高度難聴により会話が減少した一症例』
- ・ 坂本 幸子 理学療法士 訪問リハビリテーション
『タブレット端末導入による業務改善への取り組みについて』
- ・ 松田 美穂 言語聴覚士 診療所（ことばの発達支援センター）
『ことばの発達支援センターの利用者分析を通してみえるもの』

研究発表
計39題

- ・ 市民医療講演会
平成26年3月23日 『にしまち幸朋苑が取り組む在宅医療連携拠点事業』
- ・ 福祉・医療のまちづくり研究会
平成27年2月19日 『地域包括ケアをめざすにしまち幸朋苑の取り組み』
- ・ 鳥取県医療社会事業協会研修会
平成27年6月6日 『MSWにとっての医療介護連携』
- ・ 認知症を学ぶ会
平成28年1月21日 『認知症の理解のために』
- ・ 地域連携懇話会
平成28年9月28日 『在宅看取りを考える』
- ・ 鳥取県東部在宅医療・介護連携研究会
平成28年12月2日 『にしまち幸朋苑におけるICT活用の現状』
平成30年9月12日 『看取りの場所について考える』
- ・ 鳥取県福祉研究学会
令和元年2月16日 『鳥取市の「認知症初期集中支援チーム」活動実績』
- ・ 認知症サポート医フォローアップ研修講演
令和元年3月3日 『認知症サポート医として、鳥取市の認知症初期集中支援チームに関わる』
- ・ 認知症対応力向上研修会
令和2年1月15日 『認知症非専門医が認知症を診る』
- ・ 鳥取県東部医師会認知症研究会
令和3年1月8日 『認知症非専門医が認知症を診る ～経験から学ぶ～』

IV. 外部学会・講演・研究会

にしまち幸朋苑の職員

- ・ 職員数：**71人**
- ・ 女性：**46人(66%)**
- ・ 男性：**25人(34%)**
- ・ 平均年齢：**47.1歳**

にしまち幸朋苑 有資格者数

- ・ 医 師 : **2**人
- ・ 准看護師 : **3**人
- ・ 介護福祉士 : **27**人
- ・ 歯科衛生士 : **1**人
- ・ 理学療法士 : **5**人
- ・ 介護支援専門員 : **7**人 (うち主任介護支援専門員**3**人)
- ・ 看護師 : **11**人
- ・ 管理栄養士 : **1**人
- ・ 社会福祉士 : **1**人
- ・ 言語聴覚士 : **4**人
- ・ 作業療法士 : **5**人

・ 福祉住環境コーディネーター	: 4人
・ 社会福祉任用主事	: 2人
・ 福祉用具専門相談員	: 1人
・ ガイドヘルパー(視覚・全身)	: 4人
・ 医療事務技能審査	: 1人
・ 診療報酬請求事務認定試験	: 1人
・ 防火管理者	: 6人
・ 学習療法士	: 1人
・ キャリ段位認定レベル2	: 1人
・ 地域包括ケア推進リーダーコース	: 1人 (推進コース: 1人)
・ 介護予防推進リーダー	: 1人

主な資格: **24**

有資格者: **91人**

教育・研修

☆指導者・マネジャー(管理者)関連

・ <u>看護師実習指導者講習【特定分野】</u>	2人
・ <u>リスクマネージャー養成講座</u>	3人
・ <u>痰吸引伝達研修(指導看護師)</u>	1人
・ <u>フレイル対策推進マネジャー</u>	1人
・ <u>ユニットケア施設管理者研修</u>	2人

教育・研修

☆指導者・マネージャー(管理者)関連

・認知症対応サービス管理者研修	3人
・認知症介護サービス開設者研修	3人
・安全運転運行管理者	1人
・介護労働者雇用管理責任者講習	1人
・ISO内部監査員研修	4人

教育・研修

☆ケア・リハビリ関連

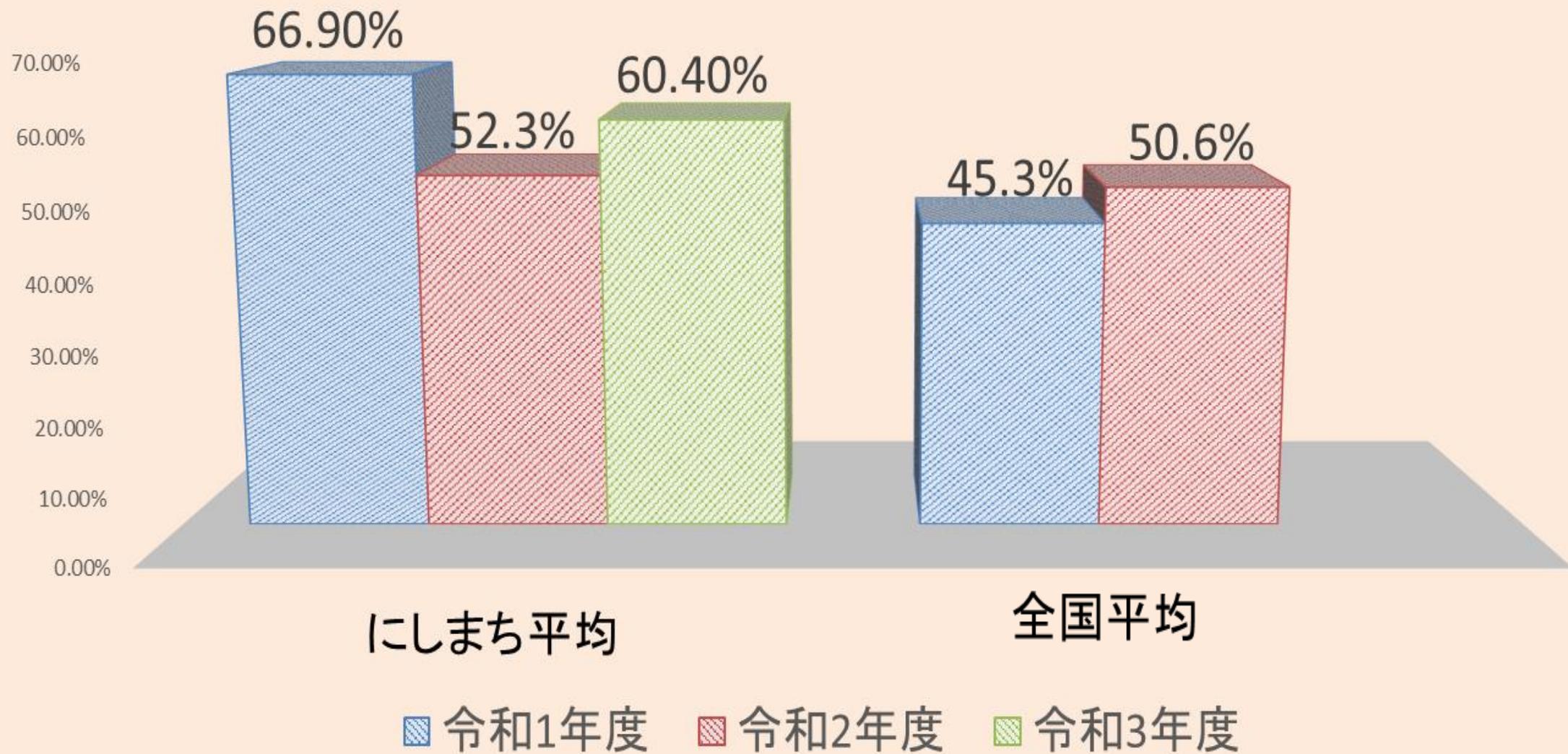
・認知症ケア専門士	1人
・認知症介護実践リーダー研修	4人
・認知症介護実践者研修	10人
・認知症介護基礎研修	1人
・DCM(マッパ)研修	2人
・ノーリフティング研修	3人

資格研修：**22**

修了者：**67**人(延)

・ユニットリーダー研修	4 人
・介護職員等のたん吸引等研修	3 人
・痰吸引認定特定行為従事者 2 号	14 人
・認知症短期集中リハビリテーション研修	1 人
・生活行為向上リハビリテーション研修	2 人
・訪問リハビリテーション実務者研修	1 人

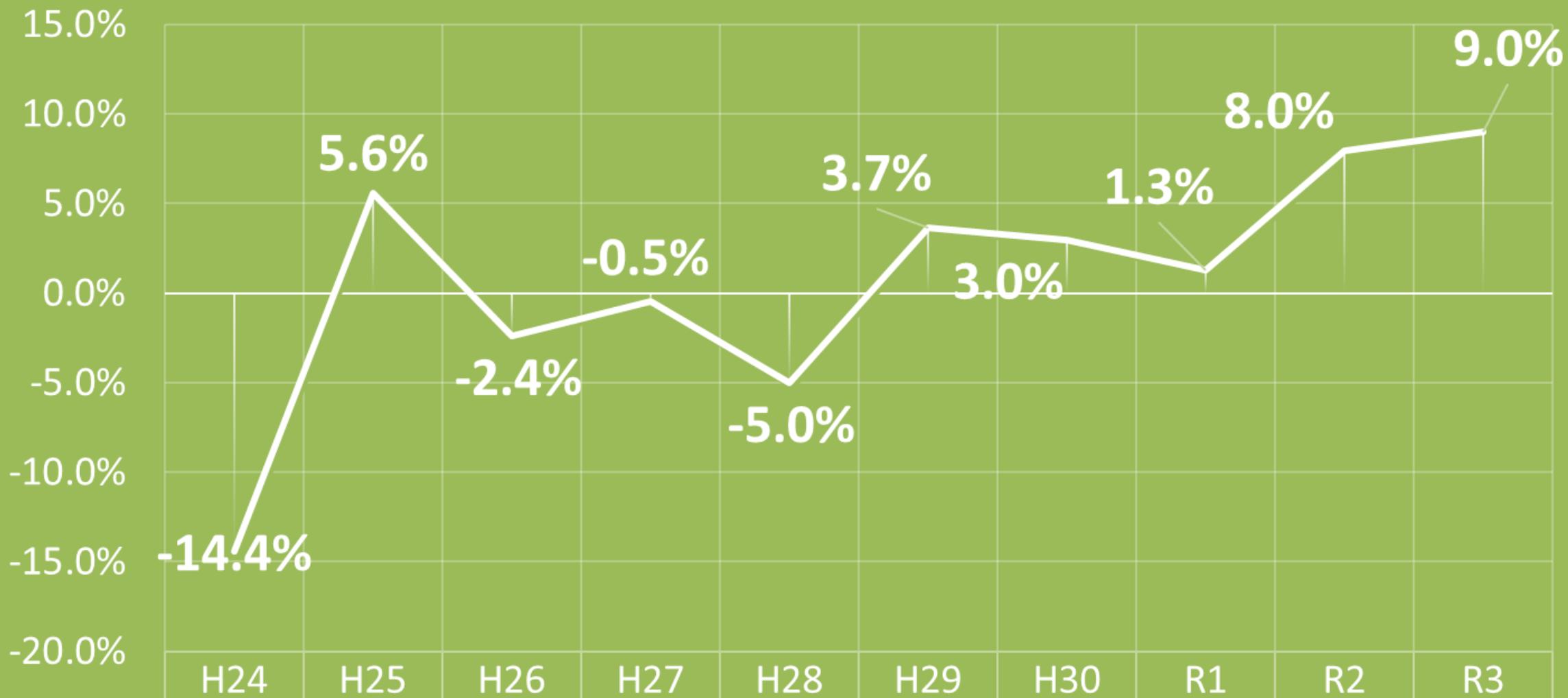
有給取得率



収入



利 益 率



— 收益率

-14.4%	5.6%	-2.4%	-0.5%	-5.0%	3.7%	3.0%	1.3%	8.0%	9.0%
--------	------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------

最後に、

こうほうえんが大切にしている**価値観**

『**互恵互助**』(お互いが助け合い 幸せを分かち合う精神)

日々のサービス提供では、

相手を思いやり、認め合い、

高い技術をもってサービスを実践する

個性と心の豊かさを大切に、
地域の一部として暮らしを支えられる
施設を目指します！



施設長 田中 俊介



